

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人石井記念証券研究振興財団

東京都中央区日本橋茅場町1-13-14

I 公益財団法人石井記念証券研究振興財団の概要

1. 設立年月日

平成元年12月1日 財団法人 石井記念証券研究振興財団 設立
平成23年4月1日 公益財団法人 石井記念証券研究振興財団に移行

2. 定款第3条に定める目的

わが国における証券市場に関する有益な研究調査に対して必要な資金の助成を行い、もってわが国の証券市場の一層の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款第4条に定める事業

- (1) 証券市場に関する有益な研究調査に対する必要な資金の助成
- (2) 証券市場に関する研究活動を行う者及び資質優秀者(留学生を含む。)に対する奨励金の支給
- (3) 前号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業
- (4) 各号の事業は全国において行うものとする。

4. 主たる事務所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目13番14号

5. 期中の許認可等に関する事項

許認可事項はありません。

6. 期中の重要な契約に関する事項

契約事項はありません。

7. 役員・評議員・選考委員及び参与に関する事項

(1) 期中の異動

令和4年5月12日の奨励金受給者選考委員会において、任期満了による飯田裕康委員の退任に伴い、委員長に柴垣和夫委員、副委員長に石井登委員が選出されました。

令和4年5月26日の定時評議員会において、増井喜一郎 公益財団法人日本証券経済研究所理事長が選任されました。

(2) 評議員・理事・監事・参与・選考委員の名簿

(令和5年3月31日現在 五十音順 敬称略)

評議員 (6名)

評議員長	小林 一彦	水戸証券株式会社元取締役会長
評議員	柴垣 和夫	東京大学名誉教授
	高橋 厚男	公益財団法人日本証券経済研究所元理事長
	土屋 卓洋	立花証券株式会社元取締役副社長
	鶴田 幸男	立花投資顧問株式会社元取締役社長
	原 良也	株式会社大和証券グループ本社名誉顧問

理事 (5名)

理事長	菊池 廣之	極東証券株式会社取締役会長
常務理事	石井 登	立花証券株式会社取締役社長
理事	成田 正路	NHK元解説委員長
	増井喜一郎	公益財団法人日本証券経済研究所理事長
	若杉 敬明	東京大学名誉教授

監事 (1名)

	富田 英保	公認会計士
--	-------	-------

参与 (1名)

	渡辺 常正	立花証券株式会社監査役
--	-------	-------------

選考委員（9名）
研究助成等選考委員会（5名）
委員長 若杉 敬明（理事）
副委員長 石井 登（理事）
委員 岩原 紳作 早稲田大学教授
柴垣 和夫（評議員）
土屋 卓洋（評議員）

奨励金受給者選考委員会（4名）
委員長 柴垣 和夫（評議員）
副委員長 石井 登（理事）
委員 土屋 卓洋（評議員）
森本 滋 弁護士・京都大学名誉教授

II 理事会・評議員会・選考委員会の開催

1. 理事会

令和4年5月11日

議題-1 令和3年度・特定費用準備資金の取崩しの延期について
議題-2 遊休財産保有制限への対応策（公益目的保有財産への定め）について
議題-3 令和3年度の事業報告・計算書類等の承認について
議題-4 定時評議員会の開催日等の決定について
議案-1 定時評議員会の開催日等の決定について
議案-2 定時評議員会における新任理事選任議案（候補者）の決定について
報告事項-1 令和3年度の資金運用状況について
報告事項-2 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
原案どおり承認または決定されました。

令和5年3月1日

議題-1 令和5年度の事業計画・収支予算について
議題-2 評議員会の開催日等の決定について
報告事項-1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
原案どおり決議または承認されました。

2. 評議員会

令和4年5月26日

議題-1 令和3年度・特定費用準備資金の取崩しの延期について
議題-2 遊休財産保有制限への対応策（公益目的保有財産への定め）について
議題-3 令和3年度の計算書類等の承認について
報告事項-1 事業報告の内容について
議題-4 新任理事の選任について
議案-1 候補者氏名
原案どおり承認されました。

令和5年3月16日

議題-1 令和5年度の事業計画・収支予算の承認について
原案どおり承認されました。

3. 選考委員会

令和4年5月12日

奨励金受給者選考委員会
議題-1 令和4年度の奨励金受給者の選考について

令和4年5月26日

研究助成等選考委員会
議題-1 令和4年度証券研究学生団体助成について

令和4年7月25日

研究助成等選考委員会
議題-1 令和4年度の研究者及び博士後期課程大学院生に対する
研究助成について

III 事業の実施状況

令和4年度の事業計画書及び収支予算書に基づき、奨励金給付事業、学生団体助成事業、研究助成事業を次のとおり実施しました。

	()内は前年度	
	[予 算]	[支 出]
奨励金給付	9,600千円(7,200千円)	9,120千円(6,720千円)
学生団体助成	11,500千円(12,600千円)	11,280千円(11,090千円)
研究助成	10,400千円(10,400千円)	11,840千円(8,420千円)
関連事業費	5,834千円(9,755千円)	4,988千円(8,950千円)
計	37,334千円(39,955千円)	37,228千円(35,180千円)

(1) 奨励金給付事業

証券市場に関心を有する資質優秀な学生及び有益な研究活動を行う研究員に対する奨励金の給付枠として、960万円(新規受給者13名、継続受給有資格者7名)を予算計上し、同事業を実施しました。

財団指定の6大学と1研究機関の長に4年度の新規受給申請者の推薦を依頼し、大学生10名、研究員1名の推薦を受けました。また、継続受給の資格を有する大学生6名と研究員2名より受給継続の申請がありました。

5月12日に奨励金受給者選考委員会を開催し、支給の可否について書類審査を行い本事業の目的に適う人材として申請者全員の採用が決められました。

5月19日に柴垣委員長、菊池理事長、石井常務理事に出席いただき、コロナ禍により3年振りとなる新規受給者への奨励金授与式を開催しました。

また、令和5年3月3日には、柴垣委員長、菊池理事長、石井常務理事に出席いただき、4年振りとなる大学生6名と研究員1名の第32回修了式を開催しました。

(2) 学生団体助成事業

大学内におけるゼミ、サークル及び証券研究学生連盟に対する助成金給付額として、1,150万円を予算計上し、事業を実施しました。

全国の32大学47団体(参加学生数1,350名)から助成金受給の申請がありました。

5月26日に研究助成等選考委員会を開催し、各団体から提出された申請書と研究成果等により書類審査を行い、申請のあった47団体に対し助成金の給付が決められました。

継続受給申請が3大学4団体から行われませんでした。新規受給申請が1大学4団体ありましたので、給付件数としては減少したものの給付額は前年度の1,109万円から1,140万円に増加しました。

全日本証券研究学生連盟が主催する「証券ゼミナール大会」への助成金として12月7日に4年度も100万円を日本証券業協会・金融・証券教育支援本部を通して支給しました。

(3) 研究助成事業

大学及び研究機関において、証券市場に関する有益な研究調査活動に携わっている研究者またはそのグループ及び大学院生(博士後期課程)に対し、研究助成金の給付を次のとおり実施しました。

4年度は5月上旬に財団関係者5名と33大学及び1研究機関の長に受給候補者の推薦を依頼しました。

給付予算額を1,040万円とする募集に対して、研究者の個人研究11件、グループ研究6件の申請があり、大学院生からは3件の応募申請がありました。

7月25日に研究助成等選考委員会を開催し、提出された受給申請書と推薦書により書類審査を行いました。

まず、2件が当財団の研究助成の趣旨に沿う研究かどうか疑問符がつき、不採択となりました。また、採択はされたものの応募申請金額が過大との判断から減額となったものが1件、さらに3件については申請内容の具体性に欠ける点などに対し、補充説明を求めることとなりました。

博士後期課程の大学院生に対しては、3名全員の研究に給付が決められました。

上記補充説明の審査を経た結果、4年度は研究者の個人研究に対して10件(給付金額744万円)、グループ研究に対して5件(同350万円)、大学院生に対して3

件(同90万円)の合計18件に対し1,184万円を給付することとなりました。

8月23日に東京証券会館において新規受給者への研究助成金授与式(研究者・大学院生)を、若杉委員長、菊池理事長、石井常務理事に出席いただき2年振りに開催しました。

以上

令和4年度事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上